

7 大阪の金融

企業の資金需要の低下や負債圧縮の動き等を反映して、金融機関の貸出金残高はこれまで減少傾向が続いてきたものの、景気の回復と相まって、平成 18 年頃からその減少幅も小幅にとどまっていました。

しかし、世界的な金融危機の深刻化に伴う世界経済の減速、国内景気の急速な弱まりなどを受け、平成 20 年秋以降、企業を取り巻く環境は急速に厳しくなっており、貸出金残高の減少率が再び拡大しています。今後は、企業の投資意欲の減退に起因する資金需要減などにより、金融機関の貸出金残高動向については軟調に推移すると考えられます。

ここでは、大阪証券取引所における株式売買高の推移を他の証券取引所と比較してとりあげるとともに、金融機関の預金・貸出金残高の推移を示しています。また、大阪府が実施している制度融資の実績をとりあげています。

7-1. 株式売買高

株式売買高は、近年、東京証券取引所への取引の集中が進んでいます。大阪証券取引所のシェアは、平成12年に8.8%であったのが、20年には1.8%となっています。

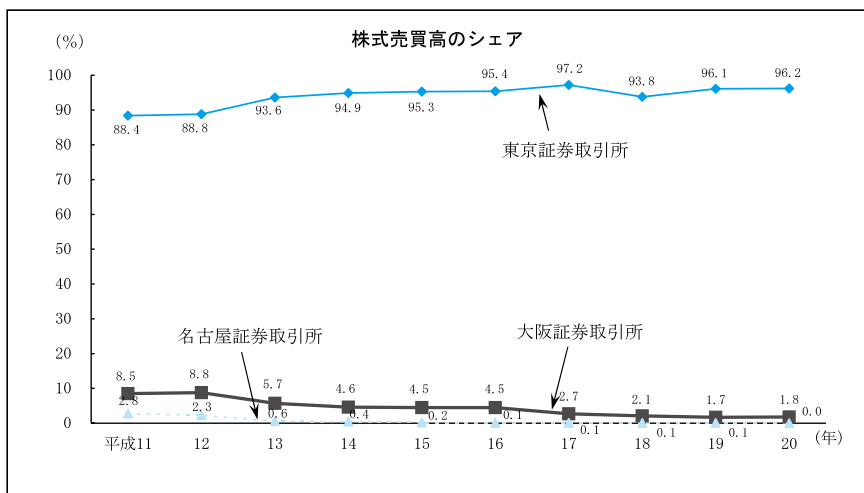
(単位：百万株)

年度	平成11		12		13		14		15	
		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)
大阪証券取引所	14,973	8.5	17,267	8.8	12,377	5.7	10,404	4.6	14,794	4.5
東京証券取引所	155,163	88.4	174,160	88.8	204,038	93.6	213,174	94.9	316,124	95.3
名古屋証券取引所	4,934	2.8	4,575	2.3	1,402	0.6	848	0.4	709	0.2
全国合計	175,455	100.0	196,087	100.0	217,894	100.0	224,568	100.0	331,731	100.0

年度	16		17		18		19		20	
		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)
大阪証券取引所	17,705	4.5	15,449	2.7	11,207	2.1	10,019	1.7	10,410	1.8
東京証券取引所	378,755	95.4	558,901	97.2	502,463	93.8	562,118	96.1	555,106	96.2
名古屋証券取引所	445	0.1	535	0.1	382	0.1	367	0.1	136	0.0
全国合計	396,967	100.0	574,955	100.0	535,598	100.0	584,828	100.0	577,057	100.0

(※東京証券取引所 統計月報)

- (注) 1. 大証は、一部、二部、ヘラクレスの計。東証は、一部、二部、マザーズの計。
 名証は、一部、二部、セントレックスの計。
 2. 平成12～13年に、広島、新潟の各証券取引所は、東京証券取引所に、京都証券取引所は大阪証券取引所に、それぞれ吸収された。現在、全国には東京、大阪、名古屋、福岡、札幌、ジャスダックの6証券取引所がある。
 3. 平成18年以降、ジャスダック証券取引所の売買高が全国値に含まれる。



7-2. 預金・貸出金残高

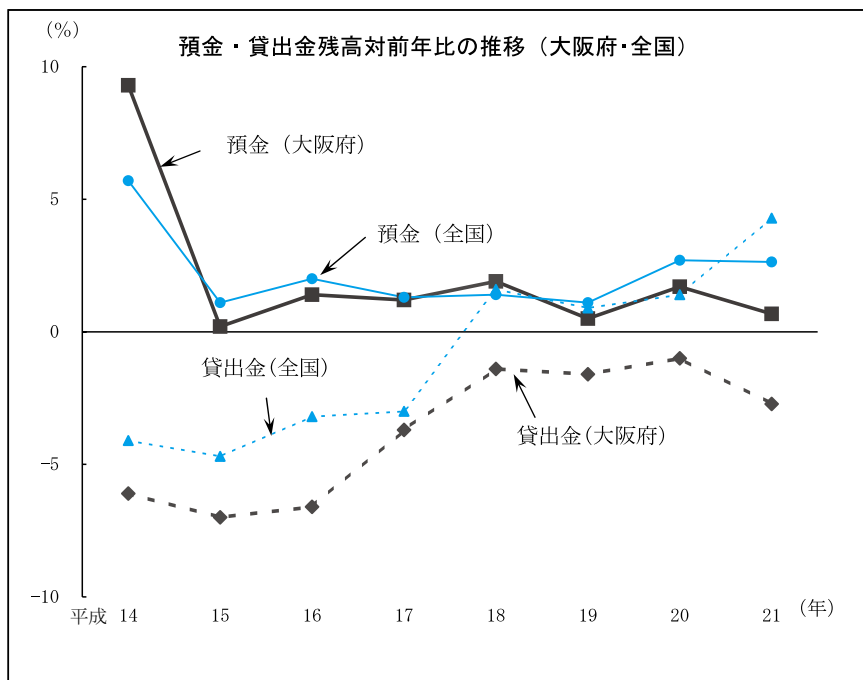
大阪における預金・貸出金の状況を見ると、貸出金残高は、資金需要の低下や負債圧縮の動き等の反映から減少が続いています。預金残高は、微増で推移しています。

(単位：億円)

年	預金残高				貸出金残高			
	大阪府		全国		大阪府		全国	
		対前年比 (%)		対前年比 (%)		対前年比 (%)		対前年比 (%)
平成 14	502,460	9.3	5,000,717	5.7	493,846	- 6.1	4,350,105	- 4.1
15	503,581	0.2	5,056,059	1.1	459,104	- 7.0	4,147,716	- 4.7
16	510,682	1.4	5,158,023	2.0	428,848	- 6.6	4,013,051	- 3.2
17	516,846	1.2	5,226,756	1.3	412,919	- 3.7	3,894,276	- 3.0
18	526,446	1.9	5,300,898	1.4	407,068	- 1.4	3,955,617	1.6
19	529,143	0.5	5,359,439	1.1	400,758	- 1.6	3,991,845	0.9
20	538,052	1.7	5,502,137	2.7	396,694	- 1.0	4,048,894	1.4
21	541,693	0.7	5,647,019	2.6	385,895	- 2.7	4,222,593	4.3

(日本銀行調査統計局 統計データ 「都道府県別預金・現金・貸出金」)

- (注) 1. 各年3月末現在
2. 対象は、国内銀行の銀行勘定。



7-3. 大阪府中小企業信用保証協会保証承諾の実績推移

大阪府中小企業信用保証協会の保証承諾の実績推移をみると、18年度の実績は、4月から第三者保証人が原則として不要になったことや、19年度からの金利上昇の影響により、承諾件数は5万件台後半、承諾金額は1兆円超と、前年度実績を大きく上回りました。19年度は17年度並みの水準となりましたが、20年度は、10月末から始まった、セーフティネット関連資金である緊急経営対策資金の実績が大きく伸び、前年度実績を大きく上回りました。

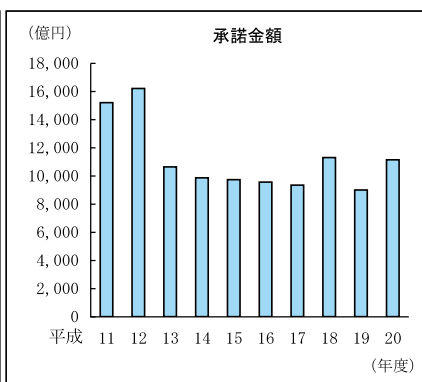
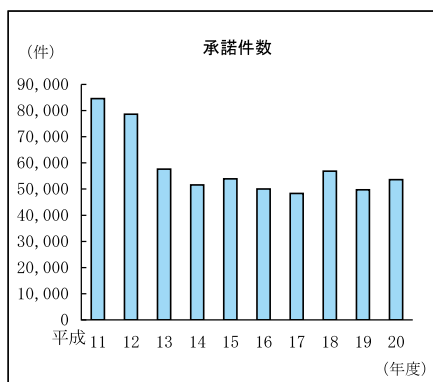
(注) 平成19年10月より、金融機関が融資金額の20%相当額を負担する、保証協会と金融機関との「責任共有制度」が導入されています。

大阪府中小企業信用保証協会保証承諾実績

(単位：件、億円)

年 度	平成 11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
保証承諾件数	84,604	78,633	57,625	51,547	53,943	50,064	48,362	56,856	49,713	53,617
保証承諾金額	15,211	16,222	10,642	9,877	9,741	9,562	9,348	11,310	9,003	11,154

(大阪府中小企業信用保証協会)



7-4. 大阪府制度融資の実績推移

大阪府制度融資の実績推移をみると、18年度の実績は、4月から第三者保証人が原則として不要になったことや、19年度からの金利上昇の影響により、承諾件数、承諾金額とも前年度実績を大きく上回りました。19年度は前年度実績を下回りましたが、20年度は、10月末に始まった、セーフティネット関連資金である緊急経営対策資金の実績が伸び、承諾件数、承諾金額とも前年度実績を大きく上回りました。

(1) 制度融資承諾件数

(単位：件)

年度	平成14	15	16	17	18	19	20
成長支援型	11,184	7,120	10,964	14,577	13,800	6,032	9,625
うち開業支援	389	363	357	375	501	919	1,021
チャレンジ型	192	178	166	91	117	275	124
サポート型	20,069	19,673	17,321	16,691	25,755	17,880	25,281
一般型	-	-	-	-	-	12,429	15,665
その他	28	0	0	3	0	0	0
合計	31,473	26,971	28,451	31,362	39,672	36,616	50,695

- (注) 1. 平成14～18年度は成長支援型に一般型を含む。(大阪府金融室金融支援課)
 2. 「成長支援型」は、小規模資金及び開業資金。
 「チャレンジ型」は、チャレンジ資金及びものづくり支援特別資金。
 「サポート型」は経営安定資金。
 「一般型」は、事業資金、金融機関提携資金及び流動資産担保資金。
 「その他」は、小額私募債保証。

(2) 制度融資保証承諾金額

(単位：百万円)

年度	平成14	15	16	17	18	19	20
成長支援型	72,769	37,758	109,737	164,791	177,518	29,669	44,923
うち開業支援	2,506	2,374	2,222	2,357	3,358	6,372	6,262
チャレンジ型	4,453	3,730	3,946	1,941	3,183	7,046	2,667
サポート型	300,167	247,717	243,104	265,656	518,945	348,505	617,055
一般型	-	-	-	-	-	193,349	353,730
その他	1,453	0	0	49	0	0	0
合計	378,842	289,205	356,787	432,437	699,646	578,569	1,018,375

- (注) 1. 平成14～18年度は成長支援型に一般型を含む。(大阪府金融室金融支援課)
 2. 「その他」は、小額私募債保証。

